

【目指す方向 行動目標】

○喫煙や受動喫煙が健康に及ぼす影響を知ろう。

○禁煙にチャレンジしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

5. 禁煙、受動喫煙の防止

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・啓発活動の推進	世界禁煙デーに行われる栗東駅前などにおける街頭啓発活動を協力します。	医師会 歯科医師会 薬剤師会 健康推進員連絡協議会	●各学区、ふれあい祭りで禁煙啓発パネルを掲示 ●栗東駅前での「世界禁煙デー」のティッシュ配布、啓発活動に参加 ● <b>薬局店頭での啓発活動を実施</b>	医師会 ●新型コロナウイルス感染症の流行により実施できず  薬剤師会 薬剤師会として禁煙デーに禁煙薬剤師のいる薬局に県作成の資材を活用し啓発活動を行った。  健康推進員連絡協議会 感染症拡大防止のため、各学区まつり等への参加なし	D   B	医師会 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  薬剤師会 ☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	成人の喫煙率の減少 男性全体 32.5% 女性全体 5.9%	成人の喫煙率の減少 男性全体 27.5% <b>2022 24.2%</b> 女性全体 8.7% <b>2022 7.3%</b>	A C	↘
・子どもへの喫煙防止啓発活動	幼稚園・保育園・幼稚園に出向き、自主制作の紙芝居等を活用して、啓発活動を行います。	健康推進員連絡協議会	●禁煙啓発の紙芝居を利用、保育園、幼稚園での禁煙活動の実施 ●「若年世代の生活習慣病予防のためのスキルアップ事業」時に喫煙防止について啓発を実施	●園からの依頼がなく実施なし	D	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% <b>2022 2.2%</b>	C	0%
・禁煙外来	禁煙外来において禁煙治療を実施します。	医師会	●日常診療を通じて、タバコと病気の関連についての情報提供を行い、禁煙外来の紹介を実施	医師会 ●日常診療を通じて、タバコと病気の関連についての情報提供を行い、禁煙外来の紹介を実施	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	成人の喫煙率の減少 男性全体 32.5% 女性全体 5.9%	成人の喫煙率の減少 男性全体 27.5% <b>2022 24.2%</b> 女性全体 8.7% <b>2022 7.3%</b>	A C	↘
	禁煙外来についての情報提供を行います。	歯科医師会	計画なし			☐令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・禁煙指導認定薬剤師の育成	禁煙指導認定薬剤師の育成に努めます。禁煙指導認定薬剤師は喫煙者に対する治療・禁煙指導だけでなく、地域における喫煙率の低下、子どもの喫煙防止などの取り組みに対しても専門性を発揮します。	薬剤師会	●禁煙支援薬剤師の育成時代の流れに応じて認定制度を改定 <b>予定(2020年度を予定)</b> 。喫煙・禁煙に関連する知識向上、肺年齢測定 <b>などの実技を含む出前講座対応の体制を整備している。の実技、地域での活動実績などを踏まえた認定制度する計画。</b>	滋賀県薬剤師会認定 禁煙支援薬剤師研修会への参加勧奨(県内106名)前回より31名多く参加。県内出張出前講座実績13回開催。	B	☑令和4年度(実績)と同じ ☐新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				

【目指す方向 行動目標】

○喫煙や受動喫煙が健康に及ぼす影響を知ろう。

○禁煙にチャレンジしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

5. 禁煙、受動喫煙の防止

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・喫煙や飲酒、薬物乱用の防止に関する学習	小学校では5・6年生の体育の保健領域、中学校では保健体育や特別活動、総合的な学習の時間において、関係機関の協力を得て、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止に関する学習を継続して実施します。	市立小中学校	小学校 ●6年生に、講師を招いて薬物乱用防止教室を実施する ●9・1月の身体測定時に、養護教諭による各学年の発達段階に合わせたお酒とたばこの害についての保健指導を実施。 ●保健体育の学習「病気の予～たばこの害～防」実施 中学校 ●保健の授業でたばこが及ぼす人体への影響について学習する。 ●喫煙へ興味関心が高い生徒については、個別に対応する。 ●保健体育科や特別活動、総合的な学習の時間において、学校薬剤師や医師、警察、少年センター職員などの専門家を講師に招いて、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止に関わる学習を実施する。	小学校 ●6年生に、講師を招いて薬物乱用防止教室を実施する ●9・1月の身体測定時に、養護教諭による各学年の発達段階に合わせたお酒とたばこの害についての保健指導を実施。 ●保健体育の学習「病気の予防～たばこの害～」実施 中学校 ●保健の授業でたばこが及ぼす人体への影響について学習する。 ●喫煙へ興味関心が高い生徒については、個別に対応する。 ●保健体育科や特別活動、総合的な学習の時間において、学校薬剤師や医師、警察、少年センター職員などの専門家を講師に招いて、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止に関わる学習を実施する。	B	□令和4年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 令和4年度(計画)と同じ  (コロナの関係で小・中ともに済生会医師による喫煙防止教室からDVD視聴へ、また、講師を招かずに薬物乱用防止教室・くすり教室の学習を行った学校が一部あった。)	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% 2022 2.2%	C	0%
・啓発活動の推進	各種団体、市、保健所と協働して、世界禁煙デーに街頭啓発活動を行います。	県南部健康福祉事務所 健康増進課	●5/31世界禁煙デーおよび5/31～6/6禁煙週間に所内ポスター掲示、街頭啓発にてポケットティッシュを配布  計画:5/31世界禁煙デーおよび5/31～6/6禁煙週間に所内ポスター掲示	南部健康福祉事務所 所内ポスター掲示等により禁煙・受動喫煙防止の啓発の実施  健康増進課	B	□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% 2022 2.2%	C	0%
	禁煙分煙施設調査を実施するとともに、受動喫煙防止について啓発を行います。	県南部健康福祉事務所	●働き盛り層の「健康づくり」支援に関する実態調査の実施。(受動喫煙環境の調査、たばこ対策推進のための支援、健康情報の発信(禁煙出前講座の紹介など)) ●「健康増進法」改定に伴い内容等の啓発を実施。 ●禁煙分煙施設調査を実施	●飲食店等からの「健康増進法」に関する問い合わせ対応 ●禁煙分煙施設調査を実施(県庁で実施)	B	□令和3年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) ●「健康増進法」改定に伴い内容等の啓発を実施	成人の喫煙率の減少 男性全体 32.5% 女性全体 5.9%	成人の喫煙率の減少 男性全体 27.5% 2022 25.6% 女性全体 8.7% 2022 7.3%	A C	↘
・啓発講座の開催	概ね60歳以上の人を対象として開催している「はつらつ教養大学」において、受動喫煙防止・禁煙の啓発や講座を開催します。	生涯学習課	●計画なし			□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				

【目指す方向 行動目標】

○喫煙や受動喫煙が健康に及ぼす影響を知ろう。

○禁煙にチャレンジしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

5. 禁煙、受動喫煙の防止

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値))

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・小中学校における健康教育の実施	市内全小学5年生、中学1年生を対象にタバコをテーマとして、医師による喫煙防止教室を実施します。	健康増進課 学校教育課	●健康増進課と連携し、医師を外部講師として、市内の小学校9校(5年生)・中学校3校(1年生)を対象にした「喫煙防止教室」を実施	学校教育課 健康増進課と連携し、医師の指導を受けて作成した動画を活用した「喫煙防止教室」を市内の小学校9校(5年生)・中学校3校(1年生)を対象に実施した。 健康増進課 感染症拡大防止のため、動画視聴とした。	B	□令和4年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  ●健康増進課と学校教育課が連携し、市内の小学校9校(5年生)・中学校3校(1年生)を対象にした「喫煙防止教室」を実施	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% 2022 2.2%	C	0%
・妊産婦・乳幼児の保護者への保健指導	母子(親子)健康手帳交付時、赤ちゃん訪問時、10か月児健診時等において、禁煙啓発リーフレットの配布をするとともに、保健指導を行います。	健康増進課	●啓発リーフレットの配布 母子健康手帳発行時、赤ちゃん訪問時、10か月健診時 ●禁煙治療のできる医療機関一覧を掲載したリーフレットを作成し、母子健康手帳交付時や、乳幼児健診、保健指導時に対象者に配布。	実施することができたが、令和3年6月禁煙補助薬チャンピックスが出荷停止されたため、医療機関での禁煙治療が停止しており、薬を使った禁煙の受診勧奨はできていない。	B	☑令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	妊産婦の喫煙率 妊娠届出時に「たばこを吸う」と答えた人の割合 3.9%	妊産婦の喫煙率 妊娠届出時に「たばこを吸う」と答えた人の割合 1.3% 2022 1.4%	A	0%
・女性、高齢者への知識の普及	婚姻届時などに啓発リーフレットを配布するなど、さまざまな機会を活用して女性や高齢者へ、喫煙や受動喫煙について知識の普及を図ります。	健康増進課	●婚姻届時、啓発リーフレットを作成し配付する。	継続して実施することができた。	B	☑令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% 2022 2.2%	C	0%
・禁煙支援の情報提供	禁煙支援に関する情報提供を行います。	健康増進課	●市ホームページへの掲載、生活習慣病相談、禁煙相談の実施	実施することができた。	B	☑令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	成人の喫煙率の減少 男性全体 32.5% 女性全体 5.9%	成人の喫煙率の減少 男性全体 27.5% 2022 25.6% 女性全体 8.7% 2022 7.3%	A C	↘
・薬物乱用防止教室等の開催	栗東市少年センターと草津警察署、少年補導委員会が、希望する小学校に対して薬物乱用防止教室を開催します。また、市内中学校を対象に「薬物乱用防止巡回パネル展」の開催をするなど、さまざまな啓発活動に取り組み、喫煙防止、薬物乱用防止を呼びかけます。	生涯学習課	●草津警察署や少年補導委員会と協力し、希望する小学校に対して薬物乱用防止教室を開催。また、市内中学校を対象に「薬物乱用防止巡回パネル展」の開催をし、喫煙防止、薬物乱用防止を呼びかけます。	栗東市少年センターと少年補導委員会が協力し、麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動(10月・11月)として、小中高生を対象に「薬物乱用の恐ろしさ」の理解と、規範意識を高めることを目的に自主制作した資料を配付し啓発しました。	B	□令和4年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) ●草津警察署や少年補導委員会と協力し、麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動(10月・11月)として市内小中高生を対象に、啓発資料を配布するなどして喫煙防止、薬物乱用防止を呼びかけます。	未成年者の喫煙率 15～19歳 0%	未成年者の喫煙率 15～19歳 2.7% 2022 2.2%	C	0%